

ちよぎ 宿座之器

《学校だより》 第3号

令和8年6月5日発行
小田原市立千代中学校
校長 北川 誠



新年度が始まって2か月が過ぎ、生徒たちは新しい学年での生活にも少しずつ慣れ、学校生活にも落ち着きが見られるようになってきました。5月は、校外での学習活動や体験学習が多く行われ、教室だけでは得ることのできない多くの学びや発見がありました。それぞれの学年で充実した活動が行われ、生徒たちは仲間との交流を深めながら、実り多い時間を過ごすことができました。

歴史と友情を深めた修学旅行

3年生は、5月11日から3日間、奈良・京都方面への修学旅行を実施しました。日本の歴史や文化に直接触れる貴重な機会として、事前学習で学んできた内容を実際に自分の目で見て、感じ、確かめることができました。歴史ある寺社仏閣や文化財の見学を通して、長い歴史の積み重ねや日本の伝統文化の素晴らしさを学ぶことができました。

また、修学旅行では、見学だけでなく、仲間と行動を共にする集団生活も大切な学びの一つです。班別行動では、互いに声を掛け合いながら協力して行動し、自分たちで考え、判断する力も養われました。3日間の活動を通して、多くの思い出とともに、中学校生活の大切な1ページを刻むことができたことと思います。



大仏の大きさに感動の鎌倉遠足



2年生は、5月12日に鎌倉遠足を実施しました。鎌倉は歴史や文化が数多く残る地域であり、生徒たちは事前学習で調べた内容を実際に現地で確認しながら学習を進めました。実際に訪れてみることで、写真や資料だけでは分からない歴史的建造物の大きさや雰囲気、街並みの特徴などを肌で感じることができました。

また、班ごとの行動では、一人ひとりが役割を意識しながら協力して活動する姿が見られました。仲間と相談しながら行動する中で、自主性や協調性も育まれ、学習面だけでなく人との関わりの面でも充実した一日となりました。

地域のすばらしさを再確認の自然学習

1年生は、5月12日に地域学習の一環として自然学習を実施しました。身近な地域に目を向け、地域の自然や地形、歴史について実際に歩いて学ぶ活動となりました。

当日は、千代台地を歩きながら、坂を上り東へ傾斜する台地の特徴を体感し、地形の変化を実際に確認しました。また、三島神社では関東大震災復興記念碑や千代廃寺跡の基礎を見学し、地域に残る歴史的な資料について学びました。さらに、森戸川周辺の低地帯や扇状地、断層崖なども観察しながら、地域の地形がどのように形づくられてきたのかについて理解を深めました。

普段何気なく見ている地域の風景も、視点を変えて観察すると、多くの特徴や歴史が隠されていることに気付くことができます。教室で学習した内容を実際の自然や地形と結び付けながら学ぶことで、生徒たちは地域への関心を高め、多くの発見や学びを得ることができました。



今後も本校では、さまざまな教育活動を通して、生徒一人ひとりの成長を支え、豊かな学びにつながる機会を大切にしていきたいと考えています。保護者の皆様には、今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。